

日本工学院八王子専門学校	開講年度	2019年度（平成31年度）	科目名	建築計画 1	
科目基礎情報					
開設学科	建築学科	コース名		開設期	前期
対象年次	1年次	科目区分	必修	時間数	30時間
単位数	2単位	授業形態	講義		
教科書/教材	初学者の建築講座 建築計画 第三版 市ヶ谷出版社、第3版 コンパクト建築設計資料集成 丸善				
担当教員情報					
担当教員	櫻井良明		実務経験の有無・職種	有・建築設計	
学習目的					
建築設計に必要な不可欠な建築計画学の基礎となる人間の行動や意識に適した様々な建築物の計画手法についての習得を学習の目的とする。建築計画1では、その建築物の中で「住宅（戸建住宅、集合住宅）およびバリアフリー住宅等」の計画手法やこれまでの日本の住まいである農家や町家、貴族・武家屋敷などの住宅様式、また、開国後、西洋文化が入った明治から戦後までの住宅の変遷について習得することを学習目的とする。					
到達目標					
次の3点を到達目標とする。 ①住宅等の計画手法に必要な基礎知識を習得する。 ②授業で得た知識をきっかけに身近な建築物を見て興味関心を持つ。 ③並行して学習する「設計製図1」の住宅設計課題である「木造平家建住宅」を、自力で設計する。					
教育方法等					
授業概要	この授業は、住宅・集合住宅、バリアフリー住宅等の計画手法について理解する。原則として教科書に沿って講義を進め、ポイントを理解するためVTRなどを有効的に使用する。また、授業のはじめに必ず前回の授業内容の確認テストを行い、復習できるようにする。				
注意点	授業には集中して取り組み、授業ノートを必ずとること。出席は自己管理して出席不足にならないようにすること。授業時間数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。日本工学院 授業心得（学生用）を守ること。				
評価方法	種別	割合	備 考		
	試験・課題	80%	試験を総合的に評価する		
	小テスト	10%	授業内容の理解度を確認するために実施する		
	平常点	10%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価する		
授業計画（1回～15回）					
回	授業内容		各回の到達目標		
1回	オリエンテーション		ガイダンス、建築計画の概要について理解する。		
2回	居住施設の計画－戸建住宅①		日本の伝統的住宅形式、貴族・武家の住宅建築様式、住宅の配置計画について理解する。		
3回	居住施設の計画－戸建住宅②		平面の類型、終戦直後の頃の狭小住宅について理解する。		
4回	居住施設の計画－戸建住宅③		各室の計画として、個人の生活空間について理解する。		
5回	居住施設の計画－戸建住宅④		各室の計画として、家族の共用的な生活空間について理解する。		
6回	居住施設の計画－戸建住宅⑤		近代建築の三大巨匠について、DVD視聴を交えて理解する。		
7回	居住施設の計画－戸建住宅⑥		各室の計画として、水まわりや廊下・階段などの移動空間について理解する。		
8回	居住施設の計画－集合住宅①		集合住宅の計画と高さなどによる分類について理解する。		
9回	居住施設の計画－集合住宅②		中高層集合住宅の階段・廊下などによる分類などについて理解する。		
10回	居住施設の計画－細部計画		人間の基本動作に基づく寸法について理解する。		
11回	バリアフリー住宅の計画①		段差解消、床材、建具など住まいの整備のための基本技術について理解する。		
12回	バリアフリー住宅の計画②		色彩・照明、インテリアなど住まいの整備のための基本技術について理解する。		
13回	バリアフリー住宅の計画③		屋内外の移動など生活行為別に見る安全・安心・快適な住まいについて理解する。		
14回	バリアフリー住宅の計画④		排泄・整容・入浴など生活行為別に見る安全・安心・快適な住まいについて理解する。		
15回	総まとめ		全体のまとめ、期末試験対策について理解する。		